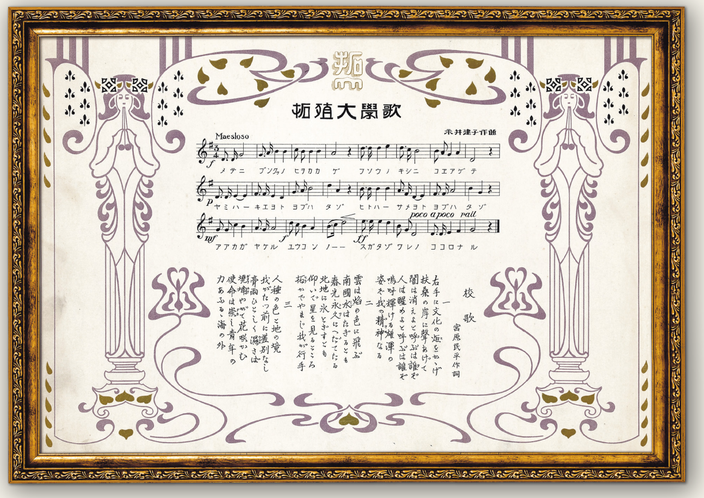拓殖大学は120年前から世界を見ていました。



「人種の色と地の境、我が立つ前に差別なし」

拓殖大学は海外雄飛を志し、
世界中の人々との協働を目指す学生を育成することを目的に創立され、本年120周年を迎えます。
創立20周年を機に制定された校歌の一節に「人種の色と地の境、我が立つ前に差別無し」と歌われるように、
120年の歩みの中で多くの学生が、世界の隅々に赴き、
立場や信条の違う人々と互いに理解を深め合いながら、
現地に根ざした多くの貢献を行ってきました。
複雑化し混迷を極める昨今の社会情勢や、情報化の進展著しい中でも、
確かな輝きを持つ国際性、専門性、人間性を育み、
様々な問題を解決する人材の育成を目指して拓殖大学は邁進してまいります。

こちらから
拓殖大学校歌を
お聴きください

120th ANNIVERSARY TAKUSHOKU UNIVERSITY

拓殖大学 Takushoku University
文京キャンパス
八王子国際キャンパス
商学部／政経学部
外国語学部／国際学部／工学部
お問い合わせ　拓殖大学広報室　03-3947-7160

2020年11月3日 朝日新聞掲載記事

やっろーさんに聞いてみよっ

今を生き抜く学生に、初代校長**桂太郎**が「120年分のエール」で答える!



Q.「スポーツに強い拓大」が生まれたワケは!?

近年、学校の「運動会」が大きく変化している。秋ではなく春開催だったり、徒競走では順位をつけないなど、「ニューノーマル」が定着しているようじゃ。しかし、その熱気と人気ぶりはいまも健在である。誰の心にも色濃い思い出として残る学校行事、それが、運動会ではなかろうか…。

時は変わって、明治・大正時代。当時の拓殖大学では「ひときわ異彩を放つ運動会が催されていた。それは東京名物とまでいわれるビッグイベントで、観客は都内ばかりか全国からも殺到し、押し合いへし合いの超満員。何とか構内に入りたいと塀をよじ登る者も現れた。大学の一行事が多くの人をトリコにした理由、その一つが「余興」であった。会場を馬が駆け回ったり、国際大学らしく世界各国のダンスに踊り狂ったり、カラフルで個性的な衣装で華々しく仮装パレードをするなど、次々に繰り出される奇抜なパフォーマンスに湧いた。もう一つのお目当てが、「勇壮」と形容されるほど爆発的エネルギーに溢れる拓大生の姿だった。その日は、どんな学生も心からスポーツとお祭りを楽しもうという気概、そして来場者をとことん楽しませようというエンターテイナーの精神がみなぎっていた。そんな拓大生を目にして、教職員も、観客も、自然と気持ちが一つになり、ともに笑い、涙し、熱狂したのである。

そして、現在。拓大生のエネルギッシュな気質とスポーツへの愛は脈々と受け継がれ、花開き、レスリングやボクシング、マラソン、水泳など数々のオリンピック選手を輩出したり、箱根駅伝にも出場し続けるスポーツに強い大学となった。ますます進化する拓大のスポーツは、これからも世界中を盛り上げ続けてくれるじゃろう!

拓殖大学歴史ミュージアム、絶賛公開中!

TAKUSHOKU DIGITAL HISTORIUM since1900　拓大ミュージアム　で　検索!



毎月1日に発行しています。　次号は2月1日発行予定です。

この冊子に関する、ご意見・要望は右記までお願いします。
なお、「学報TACT」は保証人住所宛てにお届けしており、ホームページからもご覧になれます。
お届け先の変更等がございましたら、お手数ですが右記までご連絡ください。

【保証人の皆様へ】
保証人の方の送付先変更は電話では受け付けておりませんので、学生本人が学務課窓口に直接届け出てください。

2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT

UNIVERSITY ACCREDITED 2015.4-2022.3

TACT VOL.373 2020/2021 12・1
I 学報 タクト I Dec 2020-Jan 2021_VOL 373 2020年12月1日発行 [広報室 Tel 03-3947-7160 (直通) E-mail web_pinb@ctc.takushoku-u.ac.jp Web https://www.takushoku-u.ac.jp



VOL.373
2020/2021
12・1
学報

拓殖大学

120th ANNIVERSARY TAKUSHOKU UNIVERSITY

TACT Extra

特集 RUN TO THE FUTURE 陸上競技部

麗澤会News
創立120周年記念式典
クリエイターズファイル
拓殖大学教育ルネサンス
あたらしい明日と、
これからの世界のために。
拓大のいま
大学からのお知らせ
Teacher's Eye SPECIAL
渡辺 利夫 学事顧問

SDGs Action

平和で豊かな毎日を、すべての人と分かち合うために。あなたにもできるアクションがある。

障がいを持つ子どもたちと交流をする



気軽に始めるあれこれ

TAKUSHOKU

10 人や国の不平等をなくそう

「人や国の不平等をなくそう」という目標は、性別や人種、民族、障がいの有無などに関わらず、全ての人々の不平等をなくすためのアクションを起こそう、というもの。この「不平等」は経済的な側面を指すことが多いですが、それ以外のあらゆる機会や権利においても「平等」を実現することが必要ではないのでしょうか。拓殖大学レスリング部は、八王子市特別支援学校で「レスリング教室」を行っています。これは、小学部から高等部の子どもたちに対して、それぞれの「体格」や「力」に合わせたレスリングの基本運動を体験してもらい、その楽しさを知ってもらおうという活動です。みなさんも、「不平等」をなくすことをめざして、気軽に参加できる活動を探してみてはいかがでしょうか。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標

Color your life!

学生生活を多彩に色づけよう!
拓大生応援マガジン『タクト』

［ Cover Model ］

しおたに ゆう
塩谷 優さん
国際学科 1年
東京都 自由ヶ丘学園高校出身

最近は「海外支援」に興味を持っています。具体的に何ができるのかを考えながら、これまで以上に英語の勉強に注力したいと考えています。所属しているレスリング部の活動もしっかり頑張っていきます!

レスリング部 http://tuwc.jp/

https://tac.takushoku-u.ac.jp/

Twitter @takushoku_Univ

Facebook https://www.facebook.com/TakushokuUniversity

Instagram @takushoku_tact

RUN TO THE FUTURE

陸上競技部

来年で創部100周年という大きな節目を迎える拓殖大学陸上競技部。
これまで繋がれてきた襷の「歴史」と「伝統」を感じながら、
この先の新しい時代を築くため、彼らは走り続ける。

PICK UP

第97回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

9位で通過!
42回目の「箱根駅伝」へ!

第97回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会が、10月17日(土)に東京都立川市・陸上自衛隊駐屯地内の特設コースにて行われました。本学陸上競技部は9位という成績をおさめ、8年連続42回目の本大会出場権を獲得。2年生のジョセフ・ラジニ選手は個人記録1位という好成績で本大会への期待が持てる快挙となりました。



［箱根駅伝出場校一覧 ］

予選会突破 上位10校

	大学名	出場回数
1位	順天堂大学	10年連続 62回目
2位	中央大学	4年連続 94回目
3位	城西大学	2年ぶり 16回目
4位	神奈川大学	11年連続 52回目
5位	国士舘大学	5年連続 49回目
6位	日本体育大学	73年連続 73回目
7位	山梨学院大学	2年ぶり 34回目
8位	法政大学	6年連続 81回目
9位	拓殖大学	8年連続 42回目
10位	専修大学	7年ぶり 69回目

シード校(第96回大会 上位10校)

大学名	出場回数
青山学院大学	13年連続 26回目
東海大学	8年連続 48回目
國學院大學	5年連続 14回目
帝京大学	14年連続 22回目
東京国際大学	4年連続 5回目
明治大学	3年連続 62回目
早稲田大学	45年連続 90回目
駒澤大学	55年連続 55回目
創価大学	2年連続 4回目
東洋大学	19年連続 79回目

※上記の他「関東学生連合」が加わり全21チーム出場

PICK UP

第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

9位へ大幅ジャンプアップ!

10月25日(日)に行われた第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会において、本学は総合9位の結果となりました。前大会の20位から大きく順位を上げ、過去最高位を獲得しました。選手の中でも大きな活躍を見せたのは、第4区で3人抜きを果たした1年生の土井菜摘選手と、第5区で同じく3人を抜き去った4年生の佐野英里佳選手。12月に行われる富士山女子駅伝では、さらなる活躍が期待できます。



Check

TVの前から応援しよう!

第97回 東京箱根間往復大学駅伝競走

2021.1.2-3 START 8:00

日本テレビ系列で午前7時から生中継

富士山女子駅伝

［2020全日本大学女子選抜駅伝競走］

2020.12.30 START 10:00

フジテレビ系列(テレビ静岡)で午前9時50分から生中継

INTERVIEW

「第97回箱根駅伝」でシード権獲得を狙う陸上競技部と、「富士山女子駅伝」で8位入賞をめざす女子陸上競技部。それぞれのキーパーソンに、両大会に向けた意気込みを伺いました。





スピード強化に努めて、前回果たせなかった「シード権獲得」を狙います。

チーム戦を制するためには、仲間を思いやる気持ちや「団結力」が必要になってきます。練習期間は、そのことを意識するようにと指導しました。予選会当日は新戦力が活躍していた反面、箱根駅伝経験者の不甲斐なさが目立っていたように思います。しかし、「第97回箱根駅伝」への出場権獲得においては、なにより嬉しいことです。本番に向けて、まずは体調不良者や故障者を出さないように心がけながら、練習に取り組みます。また、前大会以上に高速のレース展開になることが予想されるので、スピード強化に努めたいです。テレビの前からのご声援を、よろしくお願いいたします。

YAMASHITA TAKURO

山下 拓郎（やました たくろう） 駅伝監督（男子）



富士の麓でオレンジ旋風を巻き起こせるように頑張ります。

新型コロナウイルスの影響で、春先は「第38回全日本大学女子駅伝」に向けての練習を行うことができませんでした。しかし、選手一人ひとりが「シード権を狙う」という強い気持ちを持ち、与えられた環境で最大限の努力をしてこれたと感じています。残念ながらシード権を掴むことはできませんでしたが、過去最高位の9位という成績で、昨年から11位もジャンプアップすることができたので、取り組んできたことに間違いはなかったと考えています。「富士山女子駅伝」への出場は、今年で2回目。昨年より選手の層が厚くなったので、いままでにない戦いをご覧いただけるかと思いますので、ぜひとも応援よろしくお願いします。

IGARASHI TOSHIHARU

五十嵐 利治（いがらし としはる） 監督



全員の気持ちをひとつにして、最後まで勝負できるチームにします！

予選会では、メンバー全員がベストな状態で当日を迎えられるように、チーム全体をまとめることを心がけました。思うように走れなかった選手がいたことは、予選会での大きな反省点ですが、一方で選手全員が好タイムで走れるようになるための練習を重ねてきた成果を発揮できたとも考えています。箱根駅伝開催までには弱点を克服し、しっかり走れるように調整します。目標は、シード権を獲得すること。私たちを応援してくださる全ての人たちに感謝の気持ちを込めながら、最後まで全員で勝負していきたいと思います。

ISHIKAWA YOSHIKI

石川 佳樹（いしかわ よしき） 主将
経営学科 4年（栃木県 鳥山高校出身）



創部5年目に大きく成長した女子チームにご期待ください！

「第38回全日本大学女子駅伝」ではシード権を逃がしてしまいましたが、昨年の結果と比べて大幅にランクアップできました。そして今年はなによりも、メンバー間での競争が激しくなり、チーム全体の底上げができたと感じています。創部5年目の私たちにとって、今回の9位という結果はとても意味のあるものだと思っています。わずか20秒というタイム差で、シード権を獲得できなかったという事実を、メンバー全員で常に意識しながら、「富士山女子駅伝」への準備に励みたいと思います。目標は8位入賞です。いつも応援してくださる方々への感謝の気持ちが伝わるように、全力を尽くします！

SANO ERIKA

佐野 英里佳（さの えりか） 主将
国際学科 4年（千葉県 八千代松陰高校出身）



予選会以上のコンディションに身体を仕上げて、箱根で戦いたい。

新型コロナウイルスの影響で、ケニアから出国できない期間が6カ月もありました。さらに、8月に日本に戻った直後には14日間の隔離生活があったため、予選会に向けては限られた期間しか練習することができませんでした。しかし、2回の合宿を経て、9月にはハードな練習を行うことができたので、予選会の1週間前には良いコンディションに仕上げることができたと感じています。箱根駅伝に向けてさらに練習を重ねつつ、質の良い食事や、練習後の休養をしっかりとりながら身体のケアにも努めていきたいと考えています。そして、予選会以上に実力を発揮できるように頑張ります。

JOSEPH RAZINI

ジョセフ・ラジニ さん
国際学科 2年（ケニア オファファジェリショ高校出身）

応援に関する注意事項

選手を応援する熱い気持ちは、
コース沿道から離れていても届きます。

今大会は、新型コロナウイルス感染予防の為、三密を防ぐ対策を行います。
応援のための外出は控え、特に沿道やスタート・フィニッシュ、
中継所などでの観戦応援行為は自粛をお願いします。

最新の情報は各大会公式HPを確認してください。

箱根駅伝HP

富士山女子駅伝HP

◀出場選手等の情報はコチラ
TAKUDAI Active!（陸上競技部）HP
https://act.takushoku-u.ac.jp/lists/ritaku/sports/athletics/

Topics

エールを送ろう！陸上競技部 壮行会を実施

11月17日（火）に文京キャンパスE館前広場において、「拓殖大学陸上競技部 壮行会」を実施しました。川名明夫学長より襷が授与され、応援学生およびチアリーディング部からは演技を通じ熱いエールが送られました。









RITAKUKAI

麗澤会News

レスリング部

団体2位! 清水選手が優勝、敢闘賞! 塩谷選手、竹下選手が優勝!

試合名　全日本大学グレコローマン選手権大会
開催日・会場　10/15・16 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
試合結果　団　体　2位

敢闘賞	60kg級	清水 賢亮	(経営学科3年　帯広北高校出身)
優　勝	55kg級	塩谷 優	(国際学科1年　自由ヶ丘学園高校出身)
優　勝	60kg級	清水 賢亮	(経営学科3年　帯広北高校出身)
優　勝	63kg級	竹下 航生	(国際学科1年　高松北高校出身)
第3位	77kg級	水口 竣介	(経済学科2年　大和広陵高校出身)
第3位	130kg級	鈴木 翔真	(経済学科3年　鹿島学園高校出身)

団体戦総合準優勝!

試合名　内閣総理大臣杯全日本大学選手権大会
開催日・会場　11/7・8 大阪府・大阪なみはやドーム
試合結果　団　体　準優勝

優　勝	70kg級	谷山 拓磨	(経営学科4年　京都八幡高校出身)
優　勝	74kg級	志賀 晃次郎	(国際学科4年　京都八幡高校出身)
第2位	61kg級	清水 蛍汰	(経営学科4年　金沢北陵高校出身)
第3位	65kg級	森川 海舟	(国際学科2年　自由ヶ丘学園高校出身)

相撲部

斉藤選手が準優勝!

試合名
全国学生相撲個人体重別選手権大会
開催日・会場
9/27　大阪府・大浜公園相撲場
試合結果
準優勝　115kg未満級
斉藤 誠 (経済学科3年　三本木農業高校出身)


左から2人目 斉藤選手

女子バスケットボール部

1部で4位

試合名　関東大学女子リーグ戦
開催日・会場　9/19〜10/24 各大学体育館
試合結果　4位

空手道部

男子団体組手・女子団体形3位!

試合名
関東大学空手道選手権大会(1部)
開催日・会場
10/4　日本武道館
試合結果
3位　男子団体組手
3位　女子団体形
優秀選手賞
毛利 謙吾 (経済学科4年　愛知産業大学工業高校出身)

自動車部

個人(チャレンジクラス)上位独占!

試合名
2020JMRC栃木・茨城ジムカーナシリーズ第7戦
開催日・会場
10/4 栃木県・ドライビングパレット那須
試合結果
個人チャレンジクラス
第1位　村松 奏 (情報工学科3年　日野高校出身)
第2位　中 圭吾 (機械システム工学科2年　所沢高校出身)
第3位　田中 大貴 (機械システム工学科3年　金井高校出身)



12・1月のイベントのインフォメーション

サッカー部
•12/6・12・19
関東大学リーグ戦
(AGFフィールド 他)

相撲部
•12/6
全日本選手権大会
(両国国技館)

•12/12
東日本学生相撲新人選手権大会
(埼玉県・埼玉県立武道場)

•12/13
東日本学生相撲リーグ戦
(埼玉県・埼玉県立武道場)

陸上競技部
•12/30
全日本大学女子選抜駅伝競走
(静岡県・富士宮市〜富士市)

•1/2・3
東京箱根間往復大学駅伝競走
(東京〜箱根間往復)

レスリング部
•12/17〜20
天皇杯全日本選手権大会
(駒沢オリンピック公園総合運動場体育館)

※内容が変更になる場合もありますので、詳細は各イベントホームページで確認してください。

課外活動ポータルサイト「TAKUDAI Active!」 ▸▸▸ act.takushoku-u.ac.jp

創立120周年記念式典

11月7日土曜日、文京キャンパス内の後藤新平・新渡戸稲造記念講堂で
創立120周年の記念式典を挙行しました。

式次第

■ 開式
　国歌斉唱
　主催者挨拶　拓殖大学理事長 福田 勝幸
■ 祝辞
　・拓殖大学学友会会長 赤澤 徹様
　・拓殖大学後援会会長 山崎 松惠様
　・桂 太郎 初代校長 玄孫 桂 伸太郎様
■ 感謝状贈呈
　・拓殖大学学友会会長 赤澤 徹様
　・拓殖大学後援会
　・塩水港精糖 株式会社
　・株式会社 戸高鉱業社
　・拓殖大学学事顧問 渡辺 利夫
■ 学事報告
　拓殖大学学長 川名 明夫
■ 創立120周年ヒストリー映像放映
■ 講演「米国大統領選挙結果の意味合いと今後の日米中関係−日本の役割と将来−」
　拓殖大学総長 森本 敏
■ 講談「校歌はまだか−拓殖大学校歌誕生物語」
　講談師 神田 山緑様
■ 本学校歌 作詞者、作曲者ご紹介
■ 校歌斉唱
■ 万歳三唱 関根 一夫様
■ 閉式 拓殖大学常務理事 溝口 正夫

創立120周年記念式典主催者挨拶

拓殖大学理事長　福田(ふくだ)　勝幸(かつゆき)

皆さん、こんにちは。理事長を務めております福田です。
本日は新型コロナウイルス感染不安の中、本学創立120周年記念式典にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。
またご出席の皆様には創立120周年のためのオレンジ募金をはじめ、今回の新型コロナウイルスに対応するための学生支援金など多くの力強いご支援を頂き、この場をお借りし、心より感謝申し上げます。
さて、本学は西暦1900年(明治33年)、私立学校令により台湾協会付属の「台湾協会学校」として設立されました。
19世紀最後の年となったこの年は、中国大陸で「義和団の乱」が勃発し、また後に本学第二代目の学監となる新渡戸稲造博士が英文にて「武士道」を発表され、わが国の動向が世界から注目され始めた年でもありました。
同年9月15日、仮校舎である和仏法律学校(現・法政大学)において仮開校式が挙行されましたが、この時が紛れもなく、本学誕生の瞬間でありました。
爾来、台湾の開発事業をはじめ、広くアジア各地で活躍できる「拓殖人材」の育成に継続的に取り組んで参りました。
1919年(大正8年)、創立20周年を記念して制定された校歌には、『人種の色と地の境　我が立つ前に差別なし　膏雨ひとしく湿さば　礎确やがて花咲かむ　使命は崇し　青年の力あふゝ海の外』と卒業生がアジアの各地域で使命感に燃えて現地の人々と共に汗を流し、信頼を得て地域の開発事業や福利の発展に取り組んできた姿と精神が謳われており、100年後の今日も私達の誇りとしているところであります。
また3年後の1922年(大正11年)には、第三代学長後藤新平の尽力によってかねてから申請を行っていた念願の大学令に基づく「大学」として正式に認可され、本格的な大学としての基盤が整えられました。
第二次世界大戦後、本学は存廃の危機にさらされながらも、伝統を堅持しつつ「新制大学」として復興し、西暦2000年(平成12年)には、天皇、皇后両陛下をお迎えし、創立100周年記念式典を挙行致しました。
天皇陛下のお言葉の一部をご紹介します。
『第二次世界大戦後、日本と日本を取り巻く環境は大きく変わりました。しかし、「積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する教養と品格を具えた有為な人材の育成」という建学の精神は今日に生きるものであり、日本が今後ますます国際社会の平和と繁栄に貢献していくためにも、この大学から、国内においてはもとより、開発協力をはじめとする様々な分野で世界を舞台に活躍する人々が数多く送り出されていくことを期待しております。』
さて21世紀、わが国は少子化に伴う人口減少、経済のグローバル化やIT化の進展、地球規模の気候変動など多くの課題を抱え、社会や経済的基盤などの変革を余儀なくされております。このような喫緊かつ重要な課題解決に向け、大学の果たすべき役割は益々重要なものとなってきました。
120年前、仮校舎において、初代校長桂太郎出席のもと、学生及び関係者を合わせても130名程度という少人数で執り行われた仮入学式の様子を当時の台湾協会会報は「最も質素にかつ厳かに装われた」と伝えております。
私たちは本日新型コロナウイルス感染不安のなか、ここにご出席の皆様とともに「最も質素にかつ厳かな装い」で、創立120周年記念式典を挙行し、これからの拓殖大学の未来構築のため「学園共同体」の精神のもと取り組んでいくことをお誓い申し上げ、主催者の挨拶とさせて頂きます。
本日はご出席頂き誠に有り難うございました。



式典は滞りなく挙行され、祝辞の他、文部科学大臣や日本私立大学連盟会長など多くの方々よりお祝いメッセージを頂戴しました。第1部にて感謝状贈呈、学事報告等の後、第2部では総長講演、神田山緑様による講談が行われました。ご出席賜りました皆さま、日頃より本学にご理解とご支援いただいております本学関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。



拓殖大学 120周年記念式典 記念誌



森本 敏総長による講演『米国大統領選挙結果の意味合いと今後の日米中関係ー日本の役割と将来ー』




神田 山緑様による記念講談「校歌はまだか-拓殖大学校歌誕生物語」が披露されました。P.10にてこの講談を要約したものを掲載しています。


祝辞　拓殖大学学友会会長 赤澤 徹様


祝辞　拓殖大学後援会会長 山﨑 松惠様


祝辞　桂 太郎 初代校長 玄孫 桂 伸太郎様


感謝状贈呈
株式会社 戸高鉱業社
代表取締役会長
戸高 有基様
永年にわたる本学留学生への支援活動やオレンジ募金等、本学の充実発展に寄与いただいた功績に感謝の意を表しました。


感謝状贈呈者を代表して渡辺 利夫拓殖大学学事顧問より、司馬遼太郎「坂の上の雲」の一節を引き合いにした、挨拶がありました。渡辺学事顧問のインタビュー記事をP.19及びTACT WEBにて公開しています。

学事報告（一部抜粋）

これまでの本学のコロナに対する取り組みと『拓殖大学教育ルネサンス2020』の成果をふまえた今後のビジョンについて簡単にご報告させて頂きます。

『拓殖大学新型コロナウイルス対策本部』を設置し、各部局に次の指示、実施を行いました。

- オンライン授業に伴う通信環境整備費等の補助として全学生を対象に一律5万円を給付
- 授業料等支援を目的に特別学習奨励金、外国人留学生対象奨学金を給付

※学友会、後援会の皆様のご支援に感謝いたします

- 3密の回避策を講じた施設利用の一部再開
- 1年生に対する『スクーリング・プログラム』（ガイダンス）の実施

→60%以上の学生が登校してガイダンス、授業を受けました。

本学では、どのような事態に陥ろうとも、大学本来の目的である学生への教育を、学生、教職員の安全を図りながら継続できるよう努力するとともに、伝統ある国際大学として、「人間尊重」の精神と多様性を受け入れることのできる寛容性を身に付けた、グローバルに活躍できる有為な国際人材「拓殖人材」の育成に努め、学生が持っている潜在能力を開花させる質の高い教育を展開すると共に、手厚く充実した学園生活と諸活動に支援をしていきたいと考えています。

上記を具現化するため、現在、2030年に向けたアクションプラン『拓殖大学教育ルネサンス2030』の策定にあたっております。引き続き教職員一体となって取り組んでいきたいと考えています。是非、皆様方のご支援ご協力をお願い致します。



拓殖大学学長 川名（かわな） 明夫（あきお）

このたびの式典にて感謝状を贈呈しました塩水港精糖株式会社様より、心温まる祝文を頂戴しましたので、本紙にて一部ご紹介します。
塩水港精糖株式会社様は大正9年、専門学校であった本学が大学設置申請を行うにあたり、文部省（現・文部科学省）の定めた要件の一つである供託金の提供について、当時の拓殖大学第三代学長であった後藤新平からの要請に多額の支援を頂きましたことで、大学昇格を果たすことができました。また、現在皆さまにおなじみの「パールエース印砂糖」や「オリゴのおかげ」など、私たちの食生活に欠かせない砂糖を通して社会貢献を続けていらっしゃいます。



新商品のご紹介

ビフィズス菌を増やして「腸の力」を整える
『オリゴのおかげ』の会社から
“ビーツ”ドリンクが誕生

ビーツは「奇跡の野菜」と称され、欧米などではスープやサラダで食されているポピュラーな野菜です。
近年、スーパーフードとして注目を浴びるビーツを飲みやすいドリンクにしました。



おなかにやさしい会社
創業明治37年
塩水港精糖株式会社
ENSUIKO SUGAR REFINING CO., LTD.

ご注文はお電話または、インターネットでどうぞ！
0120-400-831
受付時間 9:00～17:00（土・日・祝も承ります）
https://www.pearlace.co.jp/beetdrink/campaign/

※式典ご列席の方々に配布提供いただきました。

この度、貴学創立120周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

今回のお話を通じて、今から100年前の大正11年当時、貴学が専門学校から大学に昇格されるにあたり、文部省に50万円の供託金が必要であったこと、そして、貴学第三代学長を務めた後藤新平が、台湾に基点を置く各製糖会社にも働きかけ、弊社が、その内20万円を寄付したこと、これらが貴学創立期の史実として残されていることをお伺いいたしました。

弊社は台湾統治下、政府による糖業振興政策の一環として、貴学創立の4年後、明治37年に創業いたしました。当初は台湾人のみの組合組織として発足いたしましたが、明治40年3月、株式会社として設立した際の社長は、後藤新平の初代書記官を務め、貴学前身である台湾協会の評議員も務めた荒井泰治であります。

その後大正6年7月、後藤新平の推薦を受け弊社に入社した槙哲は社長に就任すると、その辣腕を振るい創業から苦境に陥っていた弊社を見事に立て直しました。同氏は当時貴学の監事も務めていたとのことで、後藤新平を通じ、貴学と弊社との浅からぬご縁に改めて思いをいたす次第です。

貴学建学の精神である、「積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する教養と品格を具えた有為な人材の育成」これこそ、現在の国際社会において最も求められている危急命題であります。かつて瘴癘の地と呼ばれ、土匪や生蕃が跳梁する台湾において、その統治を行うにあたり、後藤新平が提唱し、時の台湾総督児玉源太郎を納得させたのが、「台湾の統治方針は【無方針】」即ち、「自らの思想を頭から植え付けようとするのではなく、その地に古くから伝わる風俗や習慣を出来るだけ尊重し、一方で、人々が法律の重要性を理解し、文化的生活を手に入れるために、改善すべきところは徹底して改善する」

後藤新平のこうした基本思想の下、台湾統治は現地の人々の理解と協調を得ながら進められたのであり、当時の弊社もこの考えに基づき、台湾における文化的生活基盤の確立と相互協調社会の実現に向け、貴学と共に拓殖に努めてきたものと考えております。

弊社は台湾の地名を社名に戴く唯一の上場会社であります。この歴史的な社名を誇りとして、台湾において培われ、今日まで脈々と受け継がれてきた「拓殖精神」を、貴学とともに次代にしっかりと受け継いでゆくとともに、台湾との友好を今後より一層深めてゆく所存であります。現在、100年に一度と言われる新型コロナウイルスの世界的感染拡大の折、貴学、学生の皆様も含め、不安で苦しい毎日をお過ごしのことと存じます。しかし、台湾に高い国家公衆衛生の理念を根付かせ、「国務即ち広義の衛生なり」との言葉を残した後藤新平の生き方、思想を脈々と受け継いでおられる貴学ならば、必ずやこの国難とも言える状況にも冷静に対処され、活路を見出し、逆境をバネに力強く邁進されると確信いたしております。

また、貴学が今後、150周年、200周年に向け大いに発展されますこと、そして数多の「拓殖人材」が広く世界に羽ばたき、分断し危機に瀕しつつある国際社会が、相互信頼と協調的精神を取り戻す原動力となり、大いにご活躍されますことを、心より祈念申し上げます。

塩水港精糖株式会社 代表取締役会長 久野（ひさの） 修慈（しゅうじ）

講談で学ぶ!!

拓殖大学校歌誕生物語

拓殖大学校歌が制定されたのは1919（大正8）年。本学4期生の宮原民平教授が作詞し、作曲は陸軍軍楽隊第六代軍楽隊長を務めた永井建子の手によって生み出された。同年11月3日の茗荷谷大運動会で発表が行われ、勇壮な曲、崇高な歌詞に学生は感動し、ここに拓大スピリットは高揚した。

校歌はまだか―拓殖大学校歌誕生物語　作・神田 山緑

令和の時代に「みぎて」と書いて「めて」と読めるのは拓殖大学在校生か卒業生か講談師しかおりません。
馬の手綱を取る右の手ということで「うまのて」。
「馬」は「め」とも読みましてそれで「めて」。
さて、後藤新平学長は『武士道』を記したことで有名な新渡戸稲造学監を伴い欧米を視察しておりましたが、留守をあずかる拓殖大学幹事の永田秀次郎には長年懸案となっている重大なミッションがありました。
それは、―拓殖大学に相応しい校歌を作ること。―

永田「校歌の件なんだが」
宮原「多数の応募があったと聞いています。学生たちも張り切っておりましたので、選ぶのが大変で嬉しい悲鳴でしょうか」
永田「それがな。磨けば輝くものもあるのだが、どうにも条件が満たされていなくてな」
宮原「学生たちは本学に誇りを持っております。彼らが条件を満たせぬとは意外です」
永田「そこなんだ。想いが強すぎて、どれも気ばかりが急いで、頼もしくはあれど、本校の主義精神ととらえるにはいささか個人的過ぎるのだよ。来年は創立20周年。なんとかみなが納得する校歌を生み出したいのだが」

そこで宮原民平はある事を想いつき、校歌の制作は公募から一転、当代一流の詩人に依頼するという運びになりました。
一方：難航する校歌制作に、現在の中国東北部、満州で働く拓殖大学の卒業生たちが集まっている場面でのこと。

卒業生A「校歌はまだ決まらないのか？」
卒業生B「ああ、東京出張の折に、宮原先生を訊ねた時に、公募では足りず、宮原先生が懇意にされている作家先生に作詞を依頼したそうだ」
卒業生A「我々は異国の地で働くことを目的に学校を出たはずが異国に来て改めて学校のありがたさを痛感している」

酒で顔を赤くした卒業生たちは、その言葉に深く頷きます。

卒業生B「満州に吹く空っ風は、身を切るように冷たい。きいてはいたが想像を絶する寒さだ。そんな中、民族を超えて意思疎通するやりがいと苦労、外地で集う同志の頼もしさ、これらはこの地だから身に染みて感じることが出来ている。作家先生が書いたものに、我々のこの想いが重なるものだろうか」
卒業生A「我々がどのような気持ちで校歌を待ち望んでいるか、並みの歌じゃ歌えないと意見書を認めて送ろうではないか！」

卒業生たちの熱い想いは海を渡って、作家先生の草稿を前にした永田秀次郎と宮原民平の元に届くのでした。

永田「宮原君。先生の原稿を読んだよ」
宮原「いかがでしょうか」
永田「それは君が一番わかっているのではないかね」
宮原「はい。美しい文体ではありますが、拓大らしさ。そう、魂がかけています」
永田「拓大らしさ、とはどのようなものだ」
宮原「いうなれば、この学校全体が共有する覚悟のようなものです。本学は卒業後、外地へ赴き任につくことが義務になっております。そのような義務を課す学校は他に類をみません。そのため、学生たちが抱く未知の世界へのあこがれと恐怖、覚悟は並大抵のものではありません。彼らを鼓舞し、恐怖を打ち消し、闇を照らすような歌詞が望まれるのではないでしょうか」
永田「宮原君。君が書いたらどうだろう」
宮原「私は入学の日、外地へ赴くと誓約したにもかかわらず、母校に席を借り、教壇に立つ身です。卒業生たちは私を半人前とみることでしょう」
永田「そういう君だからこそ、書ける言葉があるんじゃないのか」

宮原民平はその夜より、校歌執筆にとりかかり、大学で学んだこと、在校生や卒業生の想いを詰め込んだ歌詞を完成させました。

宮原「出来た！ さて、この詩を読んで意見してくれるにふさわしい学生を探さねばならぬ。半端な歌が後世に残ってしまうことだけは避けねばならぬからな」

教員の作詞だからといって忖度するような学生では意味がありません。草稿を片手に学内を歩きながら妥当な生徒がいないかと探していた宮原の目に一人の学生が留まりました。

宮原「石原君、『紅陵健児の歌』を読んだよ」

宮原民平が声をかけたのは寮歌『紅陵健児の歌』の作詞者石原巌徹でした。

宮原「ここに校歌の草稿がある。君に読んでもらいたい。週間後、永田幹事の前で感想を述べよ。その時に、気に入らぬなら気に入らぬとはっきりと宣言して欲しい。忖度は無用だ」

石原はからからと笑い答えました。

石原「心配無用です。弁の立つ友人と伺います」

さて。張り扇一打ちで一週間がたちました。
永田幹事を前に緊張の面持ちで立つ石原とその友人・由比又男。宮原民平は、石原たちが意見を言いやすいように席を外しております。

永田「校歌の感想を述べよ」

永田の言葉に、石原が口を開きました。

石原「お待ちください。ここに寮にいる学生たちから集めた意見書があります」

石原が懐から取り出した意見書の束。それを受け取り目を通す永田。そこに書かれていた意見は様々だが熱い想いにあふれておりました。

石原「我々がもっとも議論に熱を込めましたのは『右手に文化の灯をかかげ』という冒頭部分であります。結論から申しますと、本学の校歌らしい出発であると考えました。我々の志は欧米列強とは違って武力の火ではなく、文化のあかりで世の中を照らすことです。それからアジアとともに泣き喜ぶことであります。時に国連にて日本が提案しておりました人種差別撤廃条項の挿入が却下されたと聞いております」
永田「ああ。まことに残念なことである。この先は国連事務次長になられた新渡戸学監に思いを託すしかない」
石原「この校歌には、かの国際連盟でも明記できなかった人種差別撤廃の志にも触れられており、私は世界の最先端が記されていると考えました。これ以上の歌はありません」

宮原の歌詞は、永田の指示により、正式に校歌として発表されました。
この後、この歌詞に当時帝国劇場洋楽部長を務める音楽界の重鎮・永井建子が曲をつけ、大正8（1919）年11月3日、創立20周年陸上運動会にて、初の校歌斉唱の運びとなりました。
学生たちによる歌声は「強く、正しく、勇壮に」秋の空を震わせたといいます。
100年前の青い空に、初めて産声をあげた校歌は、動乱の時代を越え、平和な世が訪れたのちも卒業生たちに歌い継がれています。
実は、校歌を愛するあまり、先走って練習して変な癖をつけてしまいプロの歌唱指導を困らせて怒らせた話など、まだまだお伝えしたいことはやまほどありますが、それはまた改めてということで、拓殖大学校歌誕生物語「校歌はまだか」「これにて読み終わりといたします。

※120周年記念式典で披露されたものを一部抜粋、要約しております。

登場人物



作詞者
宮原 民平（みやはら みんぺい）
本学4期卒業生で、中国語の教授・学監を歴任した。



作曲者
永井 建子（ながい けんし）
陸軍軍楽隊長、帝国劇場洋楽部長などとして活躍した。



永田 秀次郎（ながた ひでじろう）
拓殖大学幹事で後の第四代学長。俳号永田青嵐の名で俳人としても知られる。

石原 秋朗（巌徹）（いしはら しゅうろう（がんてつ））
拓殖大学学生。校歌と並び愛唱される「紅陵健児の歌」の作詞者。

由比 又男（ゆい またお）
拓殖大学学生。マンドリンを得意とし「紅陵健児の歌」の作曲者。



神田 山緑（かんだ さんりょく）先生
1976年東京都生まれ。2005年に神田すみれに入門。2018年に真打昇進。古典継承200席のほか、企業や製品の誕生秘話をはじめとする新作講談を多数手掛けている。

注目!!



120周年記念式典の会場にはこの物語に登場する作詞者 宮原民平及び作曲者 永井建子、両氏のご子孫に参列いただきました。握手を交わす感動的なショット!

左：宮原 恒昱様　右：永井 修様

校歌についてもっと詳しく知りたい方は、P21 へ!!

クリエイターズファイル

拓殖大学の「建学の精神」のもと積極進取の気概、そして教養と品格を磨き上げ、
クリエイターとして活躍する先輩たちをご紹介します。

File 1 写真家
久保 敬親
KUBO Keishin



Motto
被写体こそ師なり


オジロワシ


エゾリス

こちらも Check!
写真集
「日本鳥類図譜」
山と溪谷社



Profile
1947年新潟県佐渡市生まれ。1970年に拓殖大学商学部を卒業後、フリーランスの写真家として活動をスタート。1974年に日本写真家協会に入会。1981年写真事務所「野生圏」を設立。1989年に初めての写真集「鳥Birds」その後1992年に「野生Animals」を出版。1993年東京藝術大学美術学部非常勤講師となる。以後、「キタキツネの贈りもの」「野鳥賦」「エゾヒグマ―残された聖域」等著書を含めて多数出版。写真展も東京をはじめ日本各地で開催。2000年に東京新宿から、北海道中標津に移住し、動物たちを身近に感じながら多くの作品を残す。2019年に逝去するも、翌2020年に最後の写真集「日本鳥類図譜」が出版された。

File 2 写真家
前田 真三
MAEDA Shinzo



Motto
写真は獲物を一瞬に撃ち落とす猟に似ている。




▲夕やけ小やけふれあいの里（八王子市）、前田真三写真ギャラリーの様子

こちらも Check!
夕やけ小やけ
ふれあいの里HP

▲前田真三写真展「ふるさと 完全版」2020年12月1日（火）～ 2021年3月27日（土）



「前田真三フォト・ボックス 大地の詩」講談社

Profile
1922年東京都八王子市下恩方町に生まれる。東京府立織染学校、拓殖大学専門部を経て、1944年館山海軍砲術学校を卒業。スマトラ島サバンで海軍中尉として終戦を迎え、翌年復員。1948年日綿實業（株）入社、以後17年間勤務。1967年（株）丹溪を設立し、写真活動に入る。1974年初めての写真集『ふるさとの四季』を出版。以後、風景写真の分野に独自の作風を確立し、数多くの作品を残す。代表作に『出合の瞬間』『一木一草』『奥三河』『丘の四季』などがある。1987年、北海道美瑛町に自らの写真ギャラリー拓真館を開設。日本写真協会賞年度賞、毎日出版文化賞特別賞、勲四等瑞宝章、美瑛町特別功労者章などを受賞（章）。1998年逝去。

File 3 洋画家、植物画家
小柳 吉次
KOYANAGI Yoshitsugu



Motto
道

Profile
1943年青森県弘前市生まれ。拓殖大学商学部卒業。在学中は美術研究会に所属。1981年の二紀展初入選以降、二紀会を中心に活動。NHK趣味百科「植物画を描く」放送出演などの講師も務める。2000年、文化庁在外芸術家研修員としてモンゴル国立文化芸術大学で研修。二紀展宮永賞、成井賞、現代日本美術展千葉県立美術館賞、青森県褒章、青森県文化賞など受賞歴多数。“りんごを描く”“りんごに魅せられて”小柳吉次展（弘前市立博物館）、拓殖大学講座「将来の目標に向かって～画家への道～」など。主な著書に『植物画』（NHK出版）、『スケッチから始める美しい植物画』（日貿出版社）など。二紀会委員・監事、日本美術家連盟会員、NHK文化センター講師。


りんごの花
▲文京キャンパスE館1階エントランスに掲示されています

▶2021年1月20日（水）～ 2021年1月25日（月）
最終日は午後5時閉場
／日本橋三越本店本館
6階美術特選画廊

こちらも Check!
「小柳吉次 展 」
日本橋三越本店

File 4 落語家
古今亭志ん弥
KOKONTEI Shinya



Motto
落語は心の栄養剤であり心のマッサージ



こちらも Check!
古今亭志ん彌の
集会所
（アプリ）

▼オンライン落語プロジェクトアプリ。ここでしか見れない寄席の動画や写真、レポートなど、盛りだくさんのコンテンツをご利用いただけます!

App Store　Google Play

Profile
1950年東京都荒川区生まれ。1974年に拓殖大学商学部を卒業後、古今亭圓菊一門に入門し、古今亭菊彌として修業が始まる。1978年に二ツ目昇進、1988年に真打昇進し、古今亭志ん彌となる。浅草演芸ホール、上野鈴本演芸場、新宿末廣亭・池袋演芸場などの東京都内の各演芸場および全国各地の落語会に出演。1996年からは豪華客船「飛鳥Ⅱ」の準専属噺家として毎年乗船するように。1988年には国立演芸場花形演芸会「三方一両損」で銀賞、国立演芸場若手演芸会「蛙茶番」で金賞をそれぞれ受賞。古典落語の世界にとどまらず、落語DEオペラ「フィガロの結婚」や、井上順主演「1954のプレーボール」、布施明主演「黄金のキングダム」などをはじめとする多数の芝居にも出演、意欲的に活動を行っている。

File 5 木工芸家
玉井 智昭
TAMAI Tomoaki



Motto
「素材への感謝の気持ち」と「木目と造形の調和」

Profile
1971年埼玉県富士見市生まれ。1993年に拓殖大学工学部卒業。2001年から2年間、辻英芳氏に師事。2003年に石川県立山中漆器産業技術センターを卒業したのち、埼玉県秩父市に工房を開業し、独立。2006年、富士見市に工房を移転。2009年に公益社団法人日本工芸会正会員に認定される。主な受賞歴に、第46回県北美術展熊谷市教育委員会会長賞（2003年）、第55回日本伝統工芸展日本工芸会奨励賞（2008年）、第60回東日本伝統工芸展東京都知事賞、第67回日本伝統工芸展日本工芸会会長賞（ともに2020年）など。


栃造蓋物・椿造香合

2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT

拓殖大学は
創立120周年を迎えます

拓殖大学教育
ルネサンス

あたらしい明日と、これからの世界のために。

「2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT」の最新情報をお伝えします。
創立120周年という大きな節目を迎え、この取り組みは新しいステージへと進んでいきます。

Orange Life〜クール・タクショク〜

サークルやボランティアなど、学生生活を充実させるさまざまな課外活動をサポートしています。

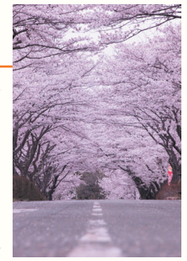
グローバルサークル

グローバル人材の育成をめざし、海外研修や留学生教育の推進を強化するための多彩な国際文化交流イベントを企画しています。

第4回「拓大写真コンテスト」開催中!

テーマ別に募集してきた作品を、「Orange Life」のインスタグラムにて掲載中です。みなさんの「いいね!」の数で受賞作品が決定します。たくさんの参加をお待ちしています。

投票はこちら



▶昨年度【最優秀賞】国際学科3年 田宮 颯太

「総集編!国際交流体験記」を募集中!

在学中に経験した海外留学や、留学生との交流に関する体験談を募集しています。応募作品は、本学ホームページで公開する予定です。特に素晴らしい作品には表彰し、副賞を授与します。

【申込期限】
12月18日(金)

詳しくはこちら



▲昨年度【最優秀賞】
国際学科3年 横山 さら

改革改善の取組

FDワークショップを開催

商学部では各教員の遠隔授業の質の向上を目的に「Zoom」をはじめとする各種アプリを活用した実践例について学びました。今回は、希望者がより参加しやすく、かつ動画を各自のペースで視聴できる利点を考慮し、初めてオンライン(オンデマンド)で実施。ワークショップは2部構成で行われ、1部では商学部専任教員に、事前に実施した遠隔授業における困りごとや課題に関するアンケート調査の結果報告と対応策について回答。2部では今井文俊准教授より、「遠隔授業の工夫」について「Zoom」を活用した実践例の報告がありました。



ほかにも
プロジェクトが
進行中!

https://nop.takushoku-u.ac.jp/

その他
教育ルネサンス
改革改善の取組

https://nop.takushoku-u.ac.jp/renaissance/

最新トピックスをご紹介!

拓大のいま

拓殖大学は「国際教育のバイオニア」として、
さまざまな取り組みを行っています。
ここでは、2020年度後期までにおける
主なトピックスをご紹介いたします。

Takudai Topics 1 日本留学AWARDS 2020で「大賞」を受賞

日本語教育機関の質的向上を図る目的で設立された、一般財団法人日本語教育振興協会では、全国の「日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先」アンケートを毎年実施し、その結果を日本留学AWARDSにて表彰しています。9月26日(土)に実施されたオンライン表彰式にて、本学は東日本私立大学文科系部門で5年連続の入賞を果たし、さらに初めて「大賞」を受賞しました。本学が日本語教育機関に評価された主な理由は以下のとおりです。



■ 学習面での留学生サポート ■ 日本語学校との連携 ■ 留学生に配慮した入試制度

Takudai Topics 2 特別授業期間にキャンパスで対面授業を実施

10月の特別授業期間中に対面授業を実施しました。受講生の人数が教室定員の3割以下となる教室に変更したほか、入館時の検温、マスクの着用、手指の消毒、換気、アクリル板の設置など、新型コロナウイルス感染症対策も万全に実施しました。



Takudai Topics 3 工学部4学科が開発した「感性ロボット」が特許取得

工学部4学科(機械・電子・情報・デザイン)では、感情表出、安心感創出に関するロボットを共同開発しています。そのうち、子どもをリラックスさせて正確な測定を行う「バイタルサイン測定ロボット」が特許(特許第6783000号)を取得。小児医療の現場で利用されることを期待しつつ、さらに研究を進めていきます。



Takudai Topics 4 令和2年度 拓殖大学教職協働ワークショップを実施

本学では教職協働により大学全体としての総合力を発揮し、教育研究活動の適切かつ効果的な運用を推進することを目的として「教職協働ワークショップ」を恒常的に開催しています。福田勝幸理事長と川名明夫学長による「2030年に向けた大学改革の方向性」についての講演では、本学の10年後を見据えた中長期計画「教育ルネサンス2030」策定の方向性について、八王子電算課長による「情報セキュリティ、遠隔授業」をテーマにした話ではウィズ・コロナ時代における教育及び情報セキュリティについて共通認識を得ることができました。



Takudai Topics 5 フレンドシッププログラムを開催

1年生同士の交流活性化を目的とした「フレンドシッププログラム」を9月下旬から11月下旬の期間中において文京・八王子国際両キャンパス等で開催しました。この企画は前期に引き続き、後期も遠隔をメインとした授業となっていることから、対面でのコミュニケーションを取りづらい状況を少しでも改善するべく実施したものです。各回のいずれも「三密」を避けるなどの予防対策を講じながら、教職員や先輩学生も含めたアットホームな交流を行うことができました。



Takudai Topics 6 農村地域活性化プロジェクトのZoom報告会

10月30日(金)、JICA一拓殖大学連携 海外協力隊ネパール農業プロジェクトの報告会をZoomにて実施しました。冒頭の「国際学とは、思いやりの学問だ」という甲斐信好国際学部長の挨拶から始まり、その後、2019年1月より海外協力隊員として現地で活躍していた国際学部卒業生2名(石川栄貴さん、森島あやめさん)および短期海外協力隊員として派遣された国際学部学生2名(廣江はるかさん、根岸宏旭さん)による報告が行われました。

2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT

拓殖大学創立120周年記念

オレンジ募金

ー新しい果実を育てますー

本年度の支援目的①「教育ルネサンス2020」の取組は「新型コロナウイルス感染症対策支援」に充当させていただきます。
本学学生が安心して学業に向き合える環境作りにご支援をお願いいたします。
※寄付金の募集は任意であり、入学年の新入生保護者等は募集対象としておりません

詳しいご案内は、拓殖大学ホームページをご覧ください。
https://www.takushoku-u.ac.jp/bokin/

「オレンジ募金」に関するお問い合せ先
総合企画部 オレンジ募金係
TEL:03-3947-7377
FAX:03-3947-9940

高額寄付者のご紹介

寄付金累計額100万円以上の寄付者(個人・法人・団体)の方には感謝状を贈呈し、オレンジ募金ホームページと学報TACTにてご紹介させていただきます。
(匿名ご希望の方を除く) 2020年7月1日〜2020年10月31日迄・受入順

〈 企業・法人 〉

有限会社 タカラ建設工業　代表取締役　中川 久幸 様
京浜精密工業 株式会社　代表取締役　駒場 徹郎 様

拓殖大学創立120周年記念 オレンジ募金受入状況

(2020年10月31日現在)

割合は小数点以下第2位を四捨五入しています。
※1. 代表者が卒業生・在校生である企業・法人です。
※2. 一人(社等)につき複数回申込の場合、1件としています。
※3. 支援目的別の金額指定がない場合は、半額ずつ充当しています。

区　分	合　計				支援目的別(※3)	
					「教育ルネサンス2020」の取組	「スポーツ振興強化」の取組
	金額(円)①+②	金額割合(合計)	受入件数(※2)	受入件数割合(合計)	金額(円)①	金額(円)②
卒業生	49,973,864	14.3%	943	65.0%	28,478,464	21,495,400
卒業生保護者	210,000	0.060%	9	0.6%	120,000	90,000
在学生	10,000	0.003%	1	0.1%	5,000	5,000
在学生保護者	3,981,000	1.1%	172	11.9%	2,332,000	1,649,000
役員・教職員(退職・非常勤含む)	37,717,900	10.8%	151	10.4%	24,351,450	13,366,450
企業・法人(卒業生・在校生)(※1)	18,545,000	5.3%	38	2.6%	10,022,500	8,522,500
企業・法人(一般)	34,680,000	9.9%	49	3.4%	16,440,000	18,240,000
団体等	197,091,256	56.5%	72	5.0%	123,502,883	73,588,373
一般有志	6,451,000	1.9%	15	1.0%	3,248,500	3,202,500
総　計	348,660,020	100.0%	1,450	100.0%	208,500,797	140,159,223

大学からのお知らせ

Information From Takushoku University

文京キャンパス　八王子国際キャンパス

※変更となる場合がありますので、最新情報はTakudai PortalやHPで確認してください。

全学年

大学入学共通テスト実施に伴う入構制限

文京キャンパスは大学入学共通テストの試験場になります。試験を適正かつ厳正に実施するため、受験生およびテスト実施関係者以外の方は期間中構内に立ち入ることができません。

入構制限期間　1/16(土)・17(日)終日　　**入構制限場所**　文京キャンパス全域(国際教育会館を除く)

学修 LEARNING

全学年　学務課

後期行事日程(2～3月)

商・政経学部(文京キャンパス)／外国語・工・国際学部(八王子国際キャンパス)

■進級および卒業確定者発表・学業成績発表の日程

第1回進級・卒業確定者発表 (Takudai Portal) 4年生成績発表 ※卒業確定者のみ	2/13(土) 15:00掲載 〈対象〉4年生 全学部／3年生 工学部／2年生 全学部／1年生 政経・外国語(英米語学科を除く)・工学部
再試験申込日	2/15(月) 再試験申込詳細は下記参照 文京キャンパス：当日15:00まで 八王子国際キャンパス：当日16:00まで
再試験	申込時に発表
第2回進級・卒業確定者発表 (Takudai Portal)	3/12(金) 17:00掲載 〈対象〉4年生 全学部／3年生 工学部／2年生 全学部／1年生 政経・外国語(英米語学科を除く)・工学部
1～3年生成績発表 (Takudai Portal)	3/12(金) 17:00掲載

※11/16(月)現在の情報です。日程の変更等については、HP、Takudai Portal等にてお知らせしますので、必ず確認してください。

全学年　学務課

再試験

進級・卒業保留者に対して、再試験を以下の要領で実施します。

■対象学年

1年生　(政経・工学部の進級保留者)
(外国語学部の進級保留者 中国語・スペイン語学科のみ)

2年生　(商・外国語・工・国際学部の進級保留者、政経学部の2017年度以前入学の進級保留者)

3年生　(工学部の進級保留者)

4年生　(商・政経・外国語・工・国際学部の卒業保留者)

■受験できる科目

当年度履修科目で最終評価が0～59点で[F]不合格となった科目。ただし、最終評価が「XXX」および「---」で不合格になった科目は受験資格がありません。

※実施しない科目は、履修要項を確認してください。

■受験料　1科目 2,000円

※受験料の納入については改めてお知らせします。

■成績の評価

60点(C)を上限とします。

■申込

●商・政経学部(文京キャンパス)

2・4年生　商学部 1・2・4年生 政経学部	C館教室

●外国語・工・国際学部(八王子国際キャンパス)

1年生 工学部 外国語学部(中国語・スペイン語学科のみ) 2年生 外国語・工・国際学部 3年生 工学部 4年生 外国語・工・国際学部	八王子学務課

※申込方法等は、進級・卒業発表日に該当者に指示します。

全学年　学務課

外国人留学生のビザを更新、変更した方へ

在留資格、在留期間を更新・変更した学生は、在留カードの表・裏面のコピーとパスポート在留期間の箇所のコピーを持参のうえ、所属キャンパスの学務課に提出してください。出入国在留管理局に報告する義務がありますので、必ず手続をしてください。

4年生　総務課・学務課

2020年度 卒業式(学部)日程

日程　3/23(火)

会場　●文京キャンパス(商・政経学部)
●八王子国際キャンパス(外国語・工・国際学部)

※詳細についてはHPでお知らせします。
※学位記は学生証と引換で授与します。

■卒業式当日の手続

取扱時間　10:00～16:30

※挙行中(午前および午後の部)は取り扱いません。
※社会の状況により変更となる場合はHPでお知らせします。

事務取扱	場所	備考
学割証の発行	証明書自動発行機 所属キャンパス 学務課前	学生証がないと学割証は発行できません。学生証は学位記と引換になります。学割証発行希望者は卒業式(学位記授与)の前に学生証を使用して自動発行機にて取得してください。

■手続未完了者の学位記授与

図書館資料未返却者および各種手続き未完了者は学位記を受け取れない場合があるので必ず手続きを済ませてください。

■卒業確定者の卒業・成績証明書申請および交付

学位記授与の際、「卒業証明書」および「成績証明書」を各1通無料で交付します(申請の必要はありません)。
ただし、2通以上必要な場合は、別途学生証を持参の上、所属キャンパスの学務課に申請してください(1通400円)。

●商・政経学部(文京キャンパス)
●外国語・工・国際学部(八王子国際キャンパス)

申請期間	交付日
2/15(月)～3/16(火)	卒業式当日
3/17(水)以降	4/1(木)以降

大学院　総務課・学務課

2020年度 大学院学位記授与式日程

日時　3/15(月)　14:00～

会場　文京キャンパスE館1階 後藤新平・新渡戸稲造記念講堂

■修了確定者の修了・成績証明書申請および交付(大学院)

学位記授与式の際、「修了証明書」及び「成績証明書」を各1通無料で交付します(申請の必要はありません)。
ただし、2通以上必要な場合は、別途学生証を持参の上、所属キャンパスに申請してください(1通400円)。

※申請期間、交付日等の詳細についてはTakudai Portalでもお知らせします。

●経済学・商学・言語教育・国際協力学・地方政治行政研究科

申請場所	申請期間	交付日
文京キャンパス 学務課(大学院)	2/20(土)～3/5(金)	学位記授与式当日
	3/6(土)以降	3/16(火)以降

●工学研究科

申請場所	申請期間	交付日
八王子国際キャンパス 八王子学務課 (管理研究棟1階)	2/20(土)～3/5(金)	学位記授与式当日
	3/6(土)以降	3/16(火)以降

別科 日本語教育課程　総務課・国際課

2020年度 修了式(別科 日本語教育課程)日程

日時　3/15(月)　11:00～

会場　文京キャンパスE館1階 後藤新平・新渡戸稲造記念講堂

就職・進路 CAREER

4年生　学務課(大学院)

2021年度 大学院入試日程
〈II期入試／III期入試〉

下記日程にて大学院入学試験を実施します。同日に本学学部生を対象とした学内選抜・学内選抜推薦入試も行います。対象研究科は募集要項で確認してください。

■ II期入試

商学・工学・言語教育研究科
博士前期課程/博士後期課程

願書受付期間　郵送のみ　12/21(月)～1/4(月)
郵送・窓口　1/5(火)～8(金)
試験日　1/23(土)
合格発表　1/28(木)
入学手続締切　2/ 5(金)

経済学・国際協力学・地方政治行政研究科
博士前期課程/修士課程・博士後期課程

願書受付期間　郵送のみ　12/21(月)～1/4(月)
郵送・窓口　1/5(火)～8(金)
試験日　1/24(日)
合格発表　1/28(木)
入学手続締切　2/ 5(金)

■ III期入試

経済学・工学・言語教育(英語教育学専攻)・国際協力学・
地方政治行政研究科　博士前期課程/修士課程・博士後期課程

願書受付期間　2/8(月)～12(金)
試験日　2/28(日)
合格発表　3/ 4(木)
入学手続締切　3/11(木)

大学院パンフレット・募集要項・過去問題集は学務課(大学院)で配布しています。

お問い合わせ先　文京キャンパスC館2階 学務課(大学院)
(Tel:03-3947-7854)

4年生　就職課

進路活動状況報告

卒業(修了)後の進路について、まだ報告していない人は登録をしてください。Takudai Portal上の「就職Web」から登録、またはメールで配信しました進路状況調査票(両キャンパス就職課にも設置)に入力して必ず報告をしてください。卒業(修了)予定者は、就職に限らずすべての卒業後の進路(就職、進学、留学、専門学校、公務員、教員再挑戦、アルバイト、帰国等)の決定状況を大学に届ける必要があり、みなさんにお願いしています。今まで調査票を提出した人も、「最終決定」の報告でない場合は改めて決定報告をお願いします。

全学年　就職課

OB・OG+内定者+学生との就職交流会（オンライン）

学内でできるOB・OG訪問！4年生内定者や若手卒業生から就職活動の本音や仕事内容を座談会形式で聞くことができます。

日程　1/23（土）

1年生　就職課

1年生対象SPIテスト（オンライン）

2年後の就職活動を見据えて、SPI試験を実施します。現在の実力を知り、苦手な問題の対策を今から始めていきましょう。

※Bbから受験してください。

日程
- 商学部　11/29（日）～12/5（土）
- 政経学部　12/6（日）～12（土）
- 外国語・国際学部　12/13（日）～19（土）
- 工学部　12/20（日）～1/9（土）

3年生　就職課

模擬面接（オンラインおよび対面形式）

企業の人事採用担当者を講師に招き、本番さながらの集団面接と個人面接を体験することができます。良い点・改善点等のフィードバックも受けられます。

日程／募集定員　オンライン：1/28（木）・29（金）／142名
対面形式　：1/25（月）～27（水）／各キャンパス96名

3年生　就職課

学生アドバイザーによる就職相談会（オンライン）

就職活動を終えた4年生内定者のリアルな体験を聞いたり、アドバイスを受けたりすることができます。

※随時実施しています。

全学年　就職課

公安系公務員セミナー（オンラインおよび対面形式）

警視庁・東京消防庁・自衛隊の仕事内容や採用情報について詳しく説明します。

日時／会場　12/4（金）　13:00～15:20／八王子国際キャンパスC館

3年生　就職課

就勝（活）セミナー「2022 年度採用の傾向と対策」（オンライン）

就職活動本番直前！ 最新の採用側の動きを解説します。

日程　2/2（火）・5（金）

3年生　就職課

合同企業研究会（オンライン）

拓大生のために就職部が推奨する優良企業300社がオンラインで集結！

日程　2/8（月）～10（水）・12（金）

※各イベントの詳細については、拓大就職Web、メール、Takudai Portal等を確認してください。

生活 LIFE

全学年　学生部

長期休暇を迎えるにあたり

新型コロナウイルス感染症終息の見通しの立たない中、感染拡大を防ぐため、後期も遠隔授業を中心に（一部対面授業）行っています。年末年始及び後期授業終了後は長期休暇となりますので、以下の点に留意し意義ある休暇となることを望みます。

1. 法令を遵守し、大学生としての自覚と責任ある行為・行動に心掛けること
2. 休暇中の諸計画は、安全に心掛けること
3. 飲酒によるトラブルのないように注意すること
   ※特に、「未成年者飲酒」・「体質的に受け付けない人への飲酒強要」・「イッキ飲ませ」等を厳に禁じる
4. 悪質商法・カルト宗教等の巧妙な勧誘やアルバイト等での不要なトラブルのないよう注意すること
   ※簡単なアルバイトと称し、高額報酬を謳うものは、特殊詐欺への加担に繋がる恐れがあるので注意すること
5. SNS等を利用した不適切で軽率な書き込みに注意すること
6. 交通事故・登山事故等に遭わないように注意すること
7. 自然災害に十分注意し、本学「防災マニュアル」を確認し「災害発生時の心構え」を身に付けること
8. 生活が不規則にならないように注意すること

また、麗澤会体育局においては6月1日（月）より申請に基づき、段階的に活動を認めておりましたが、麗澤会総務局・文化局・事務局各委員会および愛好会についても10月7日（水）以降、学生・教職員の安全と安心、及び健康維持を第一に考え、制限を設けながらも課外活動を再開することといたしました。詳細については両キャンパスの学生支援室へお問い合わせください。

新型コロナウイルスに感染しないための留意点

- 感染拡大防止のため引き続き不要不急の外出は控えると共に、「3密の回避」「人との距離の確保」に努めてください。
  3密：①換気の悪い密閉空間　②多くの人の密集する場所
  ③近距離での密接した会話
  人との距離を取り、向き合わない。
- 感染予防対策「検温、手洗い、うがい、アルコール消毒、マスクの着用、咳エチケット」に努めてください。

その他のお知らせ

各マークのキャンパスに所属する学生が対象です。　文京キャンパス　八王子国際キャンパス
TP Takudai Portal　就 就職Web　HP 大学ホームページ　掲 学内掲示板　他 その他の媒体

インフォメーション	対象	日程	場所	詳細掲載箇所	問い合わせ先
一般常識テスト&解説講義	全学年	【申込期間】1/22（金）～2/5（金）	オンライン	就	両キャンパス就職課
Webテスト模試&対策ガイダンス	1～3年生	調整中	オンライン	就	両キャンパス就職課
公務員セミナー	全学年	調整中	調整中	就	両キャンパス就職課
「おすすめ求人情報」の配布	4年生	随時	両キャンパス就職課	就	両キャンパス就職課
東申込 応援模擬面接	4年生	随時　※要予約	両キャンパス就職課	就	両キャンパス就職課

渡辺学事顧問
スペシャルインタビューはこちら!

研究最前線
Teacher's Eye SPECIAL

渡辺学事顧問 スペシャルインタビュー

これまでに多大なるご尽力をいただいてきた渡辺利夫学事顧問が、今年度内に退官されることになりました。
今回は、国際開発学部（現：国際学部）の創設に奔走された日々のことや、
いまをいきる学生の皆さんへ伝えたいことについてお伺いしました。



渡辺学事顧問へ感謝を込めて。
20年間ありがとうございました。

苦しい状況も
チャンスと捉える
「タフネスさ」を、
拓大生に持ってほしい。

TACT WEB動画をチェック！ https://tac.takushoku-u.ac.jp/

「フィールド」で感じることが、よりよい未来に向かうカギになる。

現在の国際学部の前身となる「国際開発学部」の創設に力を貸してほしい、というお誘いを受けたのは、東京工業大学教授を定年で辞める時のことでした。当時の本学には、拓殖大学の「幹」となる部分、つまり、さまざまな開発途上国の異なる文化や生活様式の人々とともに生きるための教育が十分ではないように感じられました。おそらく、当時の役員も同じように感じられていたのではないでしょうか。私自身、開発経済学の研究者として、国際開発のフロントラインに立って行動する人材育成の必要性を強く認識していたということもあり、多数の名のある大学からのお誘いをお断りして、学部創立のお話を引き受けることに決めました。



学部創立に向けてまず考え抜いたことは、理念の設定です。「開発の現場の人々と同じ目線を持ち、一緒に汗をかく人材造り」を理念として掲げました。キーワードは「フィールド」です。開発経済学は「ディベロップメント・エコノミクス」といわれていますが、私自身は「フィールド・エコノミクス」だと考えています。というのも、さまざまな課題を抱える開発途上国で実践的に活躍するためには、その現場、つまりフィールドをよく観察して行動することが不可欠だからです。


当時の国際開発学部棟

次に、掲げた理念に基づきながら作成された、カリキュラムの編成および教員の採用という過程に入ります。「国際開発」という概念が確立されていない時期でした。カリキュラムを編成する際には大いに苦労しました。国際開発に関する教育を展開している世界中の大学からカリキュラムを取り寄せて、それらを参考にしながら編成していきました。あれほどカリキュラムについて体系的に学んだ時期はありませんでした。

教員を採用する際には、理論家も必要ですが、何より自分自身も泥にまみれながら行動した経験をもつ人材かどうかを念頭に置いていました。可能な限り学生を「フィールド」に連れていき、彼らの気持ちを奮い立たせ、行動させる、そういう教育をしたかったからです。私がそれまでに築いてきたコネクションなどを使いながら、JETRO、JICA、JBIC、ADBなどで活躍した経験のある人たちに集まってもらいました。

各種書類の作成および教員の採用が完了して、ようやく文部省（現文部科学省）への申請が可能になりました。大学設置審議会で何度も議論され、ようやく設置認可が下りたのは1999年12月25日でした。

以来、教員として、学部長として、さまざまな学生たちと関わってきました。卒業生たちは、開発途上国の非電化地域で電気を「量り売り」するビジネスを展開しているものをはじめ、さまざまな現場で活躍しています。彼らが「フロントライン」に立ち、開発途上国の開発に貢献している姿に、誇らしさを感じます。20年間かけて、国際開発に携わる人材育成のベースは築けたと思っています。教員の方々には、そのベースにどんどん付加価値をつけてもらいたいですね。いま、学生のみなさんは本当に苦しい状況に置かれていると思います。しかし、この状況をむしろチャンスだと捉えなおせるほどの「タフネスさ」を持ってほしい。これこそが拓殖大学らしい精神なのではないでしょうか。そして、新型コロナウイルスの感染拡大が終息したあとには、自分が興味を持ったこと、特にその現場、つまり「フィールド」に出向いて、じっくり観察し、肌で空気や振動を感じて、その場の人々とともに行動をしてほしい。知見を大きくふけ、志を高く持ち、将来に向かって邁進していきたいものです。

渡辺 利夫（わたなべ としお） 拓殖大学学事顧問

国際開発学部（現：国際学部）学部長、学長、総長の職を歴任。1939年山梨県生まれ。慶應義塾大学卒業、経済学博士。筑波大学教授、東京工業大学教授を経て現職。前外務省国際協力有識者会議議長。オイスカ会長。「成長のアジア 停滞のアジア」で吉野作造賞。「開発経済学」で大平正芳記念賞。「西太平洋の時代」でアジア・太平洋賞。「神経症の時代」で開高健賞。正論大賞を受賞など。



Check!

拓殖大学国際学部20年史ー「拓かでやまじ気が行手」に取り組んだ国際学部の20年ー「国際学部の歩みが一望できる内容。教員・卒業生ほか71名が執筆に携わっています。

◀アマゾン・キンドル版「フルカラーバージョン」はコチラ



History Photo

2000/03


新学部校舎修祓式

2003/10


「後藤新平・新渡戸稲造記念」国際協力・国際理解作文コンクール表彰式

2007/07


オープンカレッジ in 柏

2008/10


紅陵祭

2012/12



台湾留学生会主催 懇談会

1999-2017


公開講座「アジア塾」